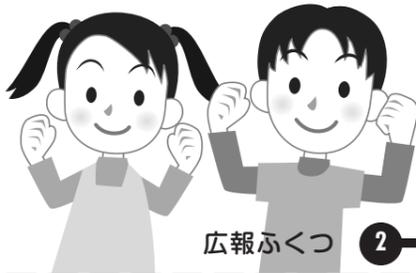


子どもは本気 大人は本気 地域は元気

みんなで盛り上げよう!

ふくつの

コミュニティ・スクール

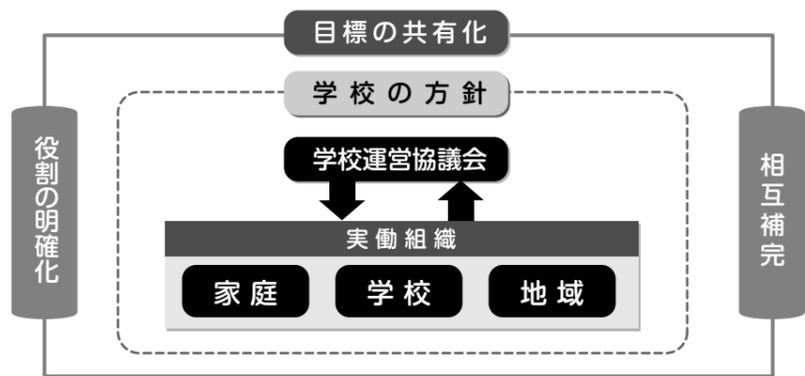


「コミュニティ・スクールとは

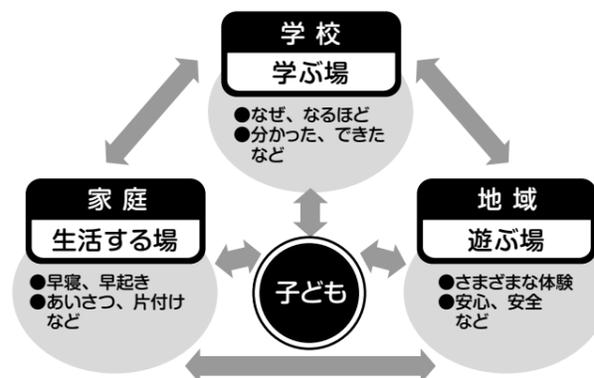
学校運営に地域の皆さんが参画するもので、保護者や地域の皆さんの要望を生かした運営を行う公立学校の愛称です。「地域に開かれた信頼される学校づくり」の推進役として期待されています。

具体的には、保護者や地域の皆さん、有識者や教職員などのメンバーで「学校運営協議会」という組織をつくり、そこでの意見を学校運営に反映させるものです(図1)。

「夢や希望を持ち、健やかに育つ子ども」の育成を目指す福津市は、平成二十三年度までに市内すべての小中学校(十校)を、「コミュニティ・スクール」として動き出せるように準備を進めています。教職員への研修や校内体制の整備、保護者や地域の皆さんとの連携など、基盤を整えています。



【図1】学校運営協議会の役割イメージ



【図2】学校・家庭・地域の役割イメージ

市が目指す「コミュニティ・スクール」の姿は、学校の重点目標の実現に向け、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、三者の知恵と力を結集して、子どもの育成に取り組む、地域にふさわしい「みんなでかかわり、みんなでつくる学校」です(図2)。

地域の力を教育に活用し、地域ぐるみで子どもを育てていく気運を高めることができ、学校・家庭・地域の連携が密になります。そして、「子どもはやる気に、大人は本気に、地域は元気に」なることで、より良い教育の実現や地域の活性化が期待されます。

市の「コミュニティ・スクール」は、神興東小学校(平成十九年九月指定)以来、平成二十二年五月で五校となっています。神興東小学校では、地域の意見を踏まえた教育活動を展開したり、地域の力を借りて、学習支援、運動会や文化祭の企画運営、アンビシャス広場(放課後の子どもたちの居場所づくり)、登下校時の安全対策(みまもり隊)などの活動を行ったりしています。今回は、今年新しく「コミュニティ・スクール」としてスタートした「上西郷小学校」、「福間小学校」、「勝浦小学校」、「福間南小学校」の取り組みを紹介します。

上西郷小学校 「育ちと学びの応援団」

上西郷小学校は、平成二十二年一月十五日に学校運営協議会を発足させ、コミュニティ・スクールに移行しました。最初に確認したことは、今まで、学校、家庭、地域がそれぞれ行ってきた教育活動を見直すことでした。そして、互いに役割分担と相互補完することで、より大きな教育力を発揮し、上西郷の子どもを育てていこうとしています。

PTAと連携した教育活動

生活リズムや交通安全教室など、今まで学校が中心になってきた取り組みを、今年はPTAの各委員会が中心になって実施しています。交通安全教室には、上西郷地域郷づくり推進協議会防犯防災部会からも参加していただきました。また、学校が実施した防犯教室にも、保護者や地域の人の参加がありました。学校・家庭・地域が協力して子どもを育てていく取り組みが始まっています。

地域と連携した教育活動

今までもいろいろな地域の人がゲストティーチャーや赤ペン先生として



▲ふれあいまつり(体験タイム)の様子

参加されていましたが今年からは、郷づくり推進協議会の福祉部会や環境景観部会などが計画的に教育活動に参加されています。環境教育や福祉教育、補充学習など地域の協力を得て、教育活動の場が広がりました。このように上西郷小学校では、地域ぐるみの教育が進められています。

学校・家庭・地域が連携した教育活動

ふれあいまつりは、コミュニティ・スクール上西郷の中核行事です。十一月十三日の開催に向けて、五月に実行委員会を発足させました。学校・家庭・地域が力を合わせて、子どもたちのために良いまつりとなるよう取り組んでいきます。

福間小学校 「心豊かでたくましく生きる子ども」

福間小学校は、平成二十二年五月二十六日に学校運営協議会を発足させ、コミュニティ・スクールとしてスタートしました。福間小学校の目指す子ども像は「心豊かでたくましく生きる子ども」「生き方の基礎・基本を確実に身に付けた子ども」です。学校と家庭、地域が共働して、「学びがい」「働きがい」「過ごしがい」の三つが持てるように子どもたちの健全育成に努力しています。家庭、学校、地域での取り組みを紹介します。

家庭での取り組み

- 「学びがい」
- 家庭学習、読書の習慣をつくらう
- 「働きがい」
- 家庭の一員としての「働く場」をつくらう
- 「過ごしがい」
- 基本的な生活習慣を身につけよう

- ・早寝・早起き・朝ごはん運動
- ・あいさつ運動
- ・ノーゲーム、ノーテレビチャレンジ運動

学校での取り組み

- 「学びがい」
- 学びの基礎基本を身に付けよう



▲働きがいの様子

- 読書活動を充実しよう
- 「働きがい」
- 気持ちよく働くよう
- ・清掃活動
- ・係活動、委員会活動
- 「過ごしがい」
- 笑顔であいさつをしよう

地域での取り組み

- 「学びがい」
- ボランティアの人材バンクをつくらう
- ・おはなし飛行船
- ・学習ボランティア
- 「過ごしがい」
- 安全で防犯意識・規範意識の高いまちをつくらう
- ・学校みまもり隊
- 地域の中に子どもの遊び場をつくらう
- ・ふくまアンビシャス広場
- ・わくわくプレーパーク

勝浦小学校 「元気いっぱい!」コミュニティスクール

【住民】「勝浦小学校はコミュニティ・スクールになったらしいけど、何のこたね?」

【先生】「地域運営学校とも言うのでありますが、簡単に言えば、今までよりもっと地域や家庭の意見を学校教育に反映させて、それぞれの役割も考えながら一緒にやって教育をしていきたいと思います」と

【住民】「ふうん、じゃあ勝浦小学校は立派なコミュニティ・スクールやね」

という会話になりそうなほど、昔から勝浦小学校に対する地域の人たちの思いは熱いものがありました。本校では、ここ数年、コミュニティ・スクールの立ち上げを見据え、この地域の基盤をもとに「マル勝まつり」と「勝浦大運動会」を、地域も学校も共に参加できる行事として活動を行ってきました。そして、平成二十二年二月十七日に市内で三番目のコミュニティ・スクールとしてスタートしました。

今後も、この二つの行事を中心に活動を行い、学校・家庭・地域のつながりを今以上に密接にしていきます。そして、子どもも地域もますます元気になることを願っています。

福間南小学校 「行きたい学校・行かせたい学校」かわりたいた学校を目指して

福間南小学校は、平成二十二年五月二十日に学校運営協議会を発足させ、市内で四番目のコミュニティ・スクールとしてスタートしました。

保護者や地域の皆さんが一定の責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校・家庭・地域が一体となつて、より良い教育の実現に取り組むことがこの制度の狙いです。

また、地域の創意工夫を生かした特色ある学校づくりが進むことで、地域全体の活性化も期待されます。また、そうした大人にはぐくまれることで、子どもたちは地域に愛着を感じます。

現在、「子どもたちが行きたい学校」「保護者が行かせたい学校」「地域の皆さんがかかわりたい学校」を目指してコミュニティ・スクールを推進しています。そのためには、地域や保護者の皆さんの積極的な参画が不可欠です。

「南っ子未来プロジェクト」と題した取り組みのもとに、チーム福間南小学校の一員として、共に手を携えていきます。

マル勝まつり

「宿題減らして〜!」と絶叫大会で叫ぶ子どもたち。遠く四国の愛媛や香川まで菜の花の種が届いた「風船とばし」。地域の人から指導してもらって披露した勝浦に伝わる伝統文化「人形浄瑠璃」や「獅子楽」。ほかにも、ニュースポーツや乗馬体験など。

こんなに盛りだくさんで、ほかの地域からも多くの人がやってくるイベントが、毎年十一月に行われる「マル勝まつり」です。三年前から、勝浦郷づくり会と学校が一緒になって作る共催のまつりにしました。

児童数は現在五十二人で、三・四年生は複式学級です。小規模校ですが、昨年のまつりには約六百五十人



▲風船とばしの様子

○学校運営協議会で、夢を語り合い、実現していきます

校長や関係職員・PTA・育成会・郷づくり・行政職員などが同じ席に着き、校長の学校経営構想を協議しながら学校運営に参画します。

子どもたちのために今何が必要か、学校・家庭・地域が連携して何ができるか、未来の福間南小学校の姿を語り合い、大人が夢を共有し、実現していきます。

○家庭との連携を一層促進します

子どもの生活基盤は、何と云っても家庭です。毎日の規則正しい生活リズムを整えること、家族の一員として安心して過ごすことが一番大切です。「早寝・早起き・朝ごはん」活動などへの積極的な参加や「食に関する指導」を通じて、子どもの健康について一緒に考えます。

また、学級懇談会や学校からのお便り、ホームページなどで情報発信に努めています。保護者アンケートによる学校評価への参加や目指す子どもの姿の共有など、今取り組んでいることをさらに大切にします。

○地域との連携を一層促進します

見守り活動、防犯活動(パト吉)交

もの人々が来校されました。多くの人たちに来てもらえるのも、郷づくり会を中心とした実行委員の熱い思い・アイデア・実行力があってこそだと考えます。

今年十一月十四日に開催する予定ですが、今回はどんなイベントが企画されるか、楽しみにしていただい。また、この行事は大人だけではなく、子どもたちも準備を行ったり、それぞれが自分の役割をもつて働いたりします。人数は少ないけれど、元気いっぱい勝浦っ子の輝く姿も見てください。

あんずの里のふもとの勝浦小学校にぜひおいでください。小さいお子さんからおじいちゃん、おばあちゃんまで、どなたでも大歓迎です。お待ちしております。



▲獅子楽の様子

○学校は、子どもたちの学力の向上に向けて、授業改善に努めます

ねばり強く活動する子どもの育成に向けて、学習規律の定着・コミュニケーション力の育成・体験的な活動の重視に努めます。

健康面については、栄養教諭を中心とした「食育」を特に重視していきます。食と健康・食と心の成長・食と学力など、食の役割を学びながら、ねばり強さの基盤でもある「心身の健康」づくりに関心を持つ子どもの育成に努めます。

子どもたちにとって、大好きな地域であることは、大きな心のよりどころです。自尊心の高い子どもたちは、自分の家族や住んでいる地域に誇りを感じているという調査結果もあるそうです。



▲子どもたちが名付け親のパト吉

勝浦大運動会

勝浦小学校にはもう一つ地域との共催行事「勝浦大運動会」があります。プログラムの半分は地域種目です。夏休み前から地域の代表の人たちと打ち合わせを行い、参加者を集めてもらいます。小学校に在籍している子どもが無にかかわらず、各地区の選手と子どもたちが一緒になつて競技を楽しんでいます。

小規模の学校ですが、子どもたちは地域の人からのたくさんの声援に包まれて演技することができま。また、地域の人たちからも、一致団結して競技に熱中し、いい汗がかけると好評です。小学校に集うことで、地域の一体感が生まれるとの声も聞かれるようになりました。



▲勝浦大運動会の様子



▲低学年の栄養指導の様子

問い合わせ

市教育総務課
(津屋崎庁舎)
☎52・4914